

一 般 質 問

山崎愛子議員

県の重要文化財である那須の獅子舞の
町の宝物として存続させるための
町当局のお考えを伺いたい

議員 群馬県の重要無形文化財である那須の獅子舞の後継者が大変少なくなっています。このままでは将来獅子舞を振る方が少なく獅子舞ができなくなるのではないかと危惧されます。この保存のため、全国の例を見ながらプロジェクトを組み、保存の取り組みを始められるようにお願いしたいと考えます。このことに関して町当局ではどのようにとらえ、どのようにお考えなのかお伺いしたい。

教育長 甘楽町のみならず、全国的に見ても歴史あるものの保存や継承は課題を抱えています。少子高齢化による後継者不足、働き方の変化により練習時間が取れなくな



り、存続ができなくなっていくのも原因と考えられます。

基本的には、保存会が主体となり具体的な悩みをお話していただき、町としても具体的に支援できることについては支援をしていきたいと思えます。那須の獅子舞に限らず、地域の方が伝統文化に理解と熱意を持っていただけるよう支援を続けていきたいと考えます。

山崎愛子議員

中学生国際交流 研修団について

町当局のお考えを伺いたい。

町長 郷土甘楽町はもちろん日本文化をイタリアにお伝えするのは大変重要なことと認識しており、使節団の受け入れや文化交流の開催を踏まえて理解してもらえよう努める所存です。

また、中学生研修団は町の歴史、イタリア文化などを事前研修で学んでいます。出し物については、研修団が皆で考え決定したものをお世話になったチエルタルド市の皆様に感謝の意を込めて披露するものご理解いただきたいと思います。

議員 チエルタルドへ中学生研修団が、継続的に交流派遣されていることは大変喜ばしく、すばらしいことです。この使節団がイタリアで歓迎され、返礼のための出し物をする場合、日本文化、特に甘楽町の文化、歴史を継続的にお伝えできるように、簡単であってもきちんと身に付けて少年少女大使としてゆく気概、小さな外交官として派遣される教育をして、送り出したらどうでしょうか。



山崎愛子議員

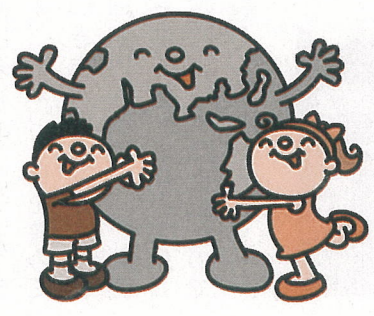
子供たちの環境教育推進について

議員 7月から生ごみの回収が週2回となったり、学校にはエアコンが導入され熱中症の心配もなくなったりと人間には便利なことが続いています。両者とも地球温暖化防止のためにはよくないわけですが、使わなければ生命に危険があるという構図になっています。

この際、園児、小学生に現状をよく説明しながら、環境教育の推進を現在より一層実践していくことを提案します。

町当局のお考えを伺いたい。

教育長 学校教育では「学習指導要領」に基づき、社会科や理科、技術・家庭科などの教科を中心に環境教育に関する学習や体験活動を実施しています。また、学校給食の



牛乳パックを再利用するという取り組みを通し、循環型社会の形成や環境問題を学ぶなど日々環境教育を受け実践をしています。町では、保育園、幼稚園から指導、教育を徹底しており、一層の環境教育の充実に努めてまいります。



佐俣勝彦議員

ふるさと納税について



議員 最近各自治体において「ふるさと納税」に本腰を入れている自治体が多い。納付者は応援したい自治体に納付した場合、所得税と住民税が一定の上限まで控除される制度と納付金の一部を還元する事で制度の積極的な活用を促している。

町長 町内者に対しては、現行どおり「城下町ふれあい便」を特典として還元したいと考えています。町外者に対しては、当町に足を運んでもらえるような特典の追加を検討したいと思っています。

自治体は、財源確保は元より「町を知ってもらおう」「町に来て頂く」ときに重きをおいている。ふるさと納税に対する今後の取り組みについてお伺い致します。

なお、ホームページなどでPRを積極的に行い、寄附金の増加に努め、今後も、ふるさと納税に賛同してくださる方の気持ち等を十分にくみ取り、個性あふれるふるさとづくりをまい進していきたいと考えています。

山崎澄子議員

小中学校統廃合後の 施設の活用について

議員 甘楽中学校開校後、5校の空校舎の町としての活用の方角づけをうかがいます。

地域の特性を活かす秋畑地区は森林セラピーを基に町内外の住民のアウトドアの基地として活用。

第一、第二中学校のどちらかに町民や子供の憩いや自然観察の場としてのピオトープの設置。首都圏との地の利を活かしての企業の危機管理部門の誘致等も考えられる。

町長 那須分校は、引き続き産経国際書会に貸借し、旧秋畑小、旧第三中学校については、跡地等活用検討委員会及び部会を設置し検討しているところです。森林セラピーは秋畑地域交流センターを拠点施設と考えています。第一、第二中学校は、統合後、皆様のご意見をいただき検討していきます。なお、ピオトープの設置ですが、町全体をピオトープとして考え、まちづくりを進めていきます。企業の危機管理部門の誘致は、町も首都圏直下型地震の緊急対策区域に指定されたので難しいと考えます。



山田邦彦議員

「譲り合いネット」の設置を

議員 ①町では三年前から、耕作できないなどの理由で貸出しを希望する農地に立札を表示し、耕作希望者を募り耕作放棄地の解消を進めている。その成果はどんなものか。②また、農家を始めたが、「高価な農機具や住居が用意できない。」とあきらめる人も多いと聞いている。トラクターやコンバイン等々の農機具の「譲り合いネット」を設置することや民家（空き家）の「譲り合いネット」設置を行ってはどうか。



ラン」を策定し、新規就農者への給付金の支給、農業機械等の導入に対する支援をしています。

町長 ①平成26年6月現在、貸出しを希望する申込み者は44人で面積は約89ha。このうち成立件数は25人、49ha、率にするとな積で55%です。②現在、「人・農地プ

今後は、農業委員会で
行っている農地の貸出し
制度を利用し、その中に
農業機械等も登録させ、
それを農業委員会が仲介
する形にしていければと
考えています。更に、空
き家なども入ってくれば
進んだ形になっていくと
思っています。

山田邦彦議員

AEDの充実を



議員 『宝の持ち腐れ』とならないための対策を。①現在の設置場所(個所・個数)と活用、点検の仕方はどうなっているか。②設置場所を増やすこと。③一覽できるマップなどを作ること。④通りからわかるような表示を作ること。⑤定期点検をすること。⑥消防署、消防団とも連携し、地域ごと、団体ごとの講習会を定期的に開くこと。⑦ネットワークを作り、事故のあったところに届けることも必要ではないか。

町長 ①18施設に各1台を配備し、平成20年と26年にふるさと館で使用実績があります。点検は各施設の管理者が行い、適切な維持管理に努めています。②「道の駅」に設置を考えています。③④広報紙やホームページで情報提供を更に充実させ、必要に応じ施設の玄関等にステッカー等を掲示します。⑤各施設に日常点検として、インジケータの確認をお願いしています。⑥適時開催されており、今後も救命講習会を計画します。⑦スポーツ大会開催時に機器の貸出しをする方法について今後検討していきます。

山田邦彦議員

より利用しやすい道の駅等について

議員 この数年、ますます甘楽町のイメージアップが行われている。更にお客さんに楽しんでもらえるように改善をしてはどうか。①道の駅、楽山園、ふるさと館、信州屋、ギャラリー等々、小さい子ども連れに利用しやすいように、子ども用のショッピングカート、休憩用椅子、ベッド、キッズルーム(スペース)の設置をすること。②駐車場に、自転車、2輪車の駐車スペースをすること。③その他今後の整備予定は。

整備されていますが、表示が足りないと思つていいます。今後、バイクや自転車が停めやすいような表示方法を検討します。③道の駅にEV(電気自動車)充電器の設置をいたします。

町長 ①必要な施設があると思つたので、スペース等を十分検討しながら、皆さんのご要望に応えられるように検討します。②道の駅やふるさと館では自転車置き場が

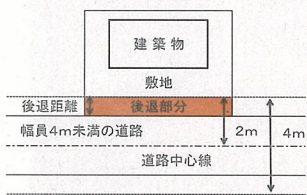


江原榮和議員

建築基準法第42条第2項による狭あい道路後退(セツバック)用地の受入れについて

寄附受入れに「協力報奨金」支給、道路使用している場合の固定資産税免除を検討していただきたい。

町長 寄附をいただける条件が整った分筆、所有権移転登記等は、以前から町で登記を行っており、町の事業に関連するほとんどの登記は町で実施しています。協力報奨金制度につきましては、今後も無償で寄附をお受けすることを基本に考えています。固定資産税の免除ですが、分筆登記がなされ、道路として使用されている場合は、現地を確認し非課税扱いとしています。使用されていない場合は宅地と同評価額の課税です。免除申請は、ご提出いただければ現地を確認し対応を検討したいと考えています。



議員 建築基準法により後退した見做し道路寄附について、町では取扱要領第4条で「所有権移転登記に関する費用は、寄附申込者の負担」と定めているため、見做し道路に障害物が置かれている。多くの市町村では、登記費用負担等を自治体が行うか、助成を行うなど「狭あい道路」の解消に努めている。次について検討を。所有権移転登記等を町で行うか、費用の一部補助、

「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産正式登録

議会議員 佐俣 勝彦

富岡製糸場と絹産業遺産群 この言葉をメインに誘客行動の世界遺産登録おめでとうございませう。町をあげてお祝い申し上げます。4月26日にユネスコ世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスによる報告が出されてから、5月の大型連休以降毎日大勢の観光客で案内人が不足との事です。正式登録後は、今までの以上の観光客が来るものと思われま

す。町でも、5月の大型連休以降6月中旬まで製糸場の観光客が来て頂けると期待していましたが、期待どおりには行かない事がわかりました。そこで、誘客を図るためには、行動を起こす必要があります。まずキャッチフレーズを考えてみました。

「日本で一番富岡製糸場に近い町」

「議会議員でも、仮称「甘楽富岡観光議員協議会」を設置するために話し合いをしており、近々、設置していきたいと思